

ソウル市立美術館・ナンジレジデンシー  
太田信吾



仁川文化財団・仁川アートプラットフォーム  
黒田大祐



光州市立美術館・GMAレジデンシー  
中川達彦  
下西進



釜山文化財団・ホンティアートセンター  
蔵真墨



BankART Studio NYK

2017年12月5日「火」19時30分



Seoul/ソウル  
ナンジレジデンシー

Incheon/仁川  
仁川アートプラットフォーム

Gwangju/光州  
GMAレジデンシー

Busan/釜山  
ホンティアートセンター

続・朝鮮通信使2017  
横浜・韓国アーティスト交流プログラム  
韓国滞在報告会

Seque : Korean Envoys 2017

The Artist Exchange Program YOKOHAMA & KOREA

# 韓国滞在報告会 2017年12月5日[火] 19:30~ BankART Studio NYK

今年、ユネスコの世界記憶遺産に登録された江戸時代に行われていた日韓交流プロジェクトである「朝鮮通信使」。2010年から、このプロジェクトを参照しながら、地域を訪ねる、シンポジウムや展覧会を行うなどの活動を通じて、日韓の新しいネットワーク構築を試みてきているのが「続・朝鮮通信使」です。本年は韓国の4つの施設や組織と連携し、夏秋にかけてアーティスト滞在交流(AIR)のプログラムを開催しました(しています)。

今回のイベントは、日本から韓国の各都市に派遣されたアーティスト達による滞在制作の報告会。派遣先のレジデンス施設や各都市の動向について、スライドを交えながら、お話を伺います。是非お誘いあわせの上、ご参加ください。

## 韓国→横浜

釜山文化財団

Yun-sun Jung (ジョン・ユンソン) 6/18~9/17

ソウル市立美術館

Jang Taewon (ジャン・テウオン) 7/5~9/30

仁川アートプラットフォーム

Gihun Noh 8/15~11/15

光州市立美術館

Kim Seola (キム・ソラ) 9/18~12/15

Choi Soonim (チェ・スンイム) 9/18~12/15

## 蔵 真墨

釜山文化財団・ホンティアートセンター

滞在期間: 7/1~9/30

数年前に釜山を訪れ良いところだ、ゆっくり撮影したいと思っていたのだが今回はそれが叶った。滞在先のホンティアートセンターは釜山の中心部から一時間ほどのところにあり海が近くのどかな場所だ。スタジオの大きな窓からは太陽光がたっぷり差し込む。私はフィルムで撮影しているので制作に暗室が必要だ。いかに隣国とはいえ海外で感材を調達し、大きな窓を遮光するのは多少手間取った。その不便さも含めて釜山が愛おしい。

くらますみ | 写真家。1975年富山県生まれ。2010年さがみはら写真新人奨励賞。代表的なシリーズとして「蔵のお伊勢参り」。近年、シリーズ「Men are Beautiful」を発表。



## 太田信吾

ソウル市立美術館・ナンジレジデンス

滞在期間: 7/11~10/11

普段、私は映像作家として活動しています。今回、初めてのレジデンス滞在・インスレーション作品の制作を行いました。今まで、映画の公開を通じて交流のあった韓国の方々と、違った角度でより深い取材・コラボレーションを行うことができました。作品の反響もあり、有意義な時間となったと思います。具体的には、自殺をテーマに制作したドキュメンタリー映画のインスレーション版の制作、そして、ライフワークとして行っている自然環境保護をテーマにした作品を制作しました。

おおたしんご | 映画監督、俳優。1985年長野県出身。映画作品『わたしたちに許された特別な時間の終わり』が山形国際ドキュメンタリー映画祭2013アジア千波万波部門に選出。



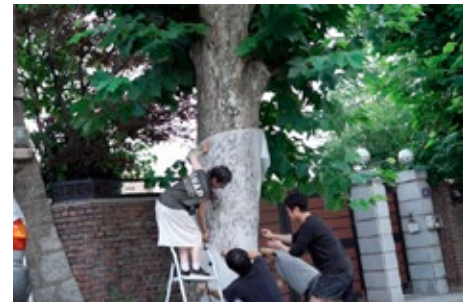
## 黒田大祐

仁川文化財団・仁川アートプラットフォーム

滞在期間: 6/8~8/22

仁川の滞在は充実したものだ。韓国の同世代のアーティストの実情を知ることが出来たし、相対的に自身の置かれている状況についてもゆっくり深く考えることが出来た。それは単にアーティストとしてだけでなく、東アジアの中で生きるといことについてでもあり、今後の活動についていくつかの道標を得たように思う。いま、仁川に滞在することが出来て本当に良かったと思っている。

くろだだいすけ | 1982年京都生まれ。広島在住。広島市立大学大学院博士後期課程修了(彫刻)。主な展覧会に「対馬 アートファンタジア」(2011-2017)、「瀬戸内国際芸術祭2016」等。



## 中川達彦

光州市立美術館・GMAレジデンス

滞在期間: 8/23~10/22

自分にとっては初めての海外でのレジデンスでした。ただ韓国は何度も訪れている国でその時一番印象に残っていたのは至る所にある教会そして夜になると白色や赤色に輝く十字架でした。光州の街にもたくさんの教会があったので、昼間の雑踏と夜に浮かび上がる十字架を同じ場所で撮影していく作品をつくることにしました。

なかがわたつひこ | 写真家。1961年大阪生まれ。1986年頃からPHスタジオのメンバーとして活動。2010年頃からBankART1929のオフィシャルカメラマンとしても活動している。



## 下西 進

光州市立美術館・GMAレジデンス

滞在期間: 8/23~10/30

今回の滞在制作では、主に二つの作品を制作した。一つは、私が韓国の焼酎メーカーの広告に出演するという設定の写真とパフォーマンス作品、もう一つは、光州市の人々の記憶を小さな歴史として映像に記録するプロジェクトである。どちらもこれまでの活動の中で行ってきた制作の延長となるものだが、幅広い世代の人たちとの交流により、日本と韓国の文化や歴史について知見を広げることができ、充実した滞在制作となった。

しもにしすすむ | 1977年広島出身。東京芸術大学大学院博士課程修了。都市を舞台にしたセルフポートレートの写真・映像作品を制作している。



お問い合わせ | BankART1929

〒231-0002 横浜市中区海岸通3-9

TEL: 045-663-2812

E-mail: info@bankart1929.com

アクセス | 横浜みなとみらい線「馬車道駅」

6出口 [赤れんが倉庫口] 徒歩4分

